部門を網羅し、り従来の日系企業だけでなく、アジア・北米などのローカル企業へ供給したい」

ム を構築し、報をリンクさ

田将史（ヒロハマ）▽岡真一（同）▽松幸（水戸部製缶）▽野和美（最上ＣＡ）▽武田克（同）の（敬称略）

幌営業所を移転

製下地材大手の桐作所（本社・東京代田区、社長・桐氏）は16日、事業に対応するため札業所を拡張移転し住所は次の通り。住所＝北海道札幌央区南１条西６―幌北辰ビル８Ｆ電話＝０１１―２―１１８８　ＦＡＸ＝０１１―８―１１８９

ハウゼコ 技術セミナー開催

300人が参加

換気部材メーカーのハウゼコ（本社・大阪市中央区、社長・神戸睦史氏）は19日、東京・市ケ谷のＴＫＰ市ヶ谷カンファレンスセンターで「ハウゼコ技術セミナー」＝写真＝を開催し、約３００人が参加した。

前半は技術セミナーを開催。建築部材の腐食などの具体的事例をもとに、同社の製品によるソリューションを神戸社長自ら解説した。

後半には住まいの屋根換気壁通気研究会座談会（研究会会員の坂本雄三氏、石川廣三氏、岩前篤氏、松尾和也氏と神戸社長）を開催。「長持ちする住まいとは――居住性と耐久性の両立は可能か」をテーマに議論した。

機」が今月2日に営業運転を開始した。3号機は発電効率の高いガスタービン複合発電設

師に招き同拠点への期待を示してもらう。鉄鋼関連では新日鉄住金の菅野良一フェローが「鋼構造と鉄鋼材料の発展ならびに構造材料研究への期待」と題して講演する。

RCSMは、社会インフラの老朽化などに対し構造材料分野の研究者が連携するための新拠点。茨城県つくば市の同機構敷地内で専用の研究棟が3月に完求するのに先立って関

質・材料研究機構事長・潮田資勝氏）国内の構造材料研

員・材料研

造材料研究拠点のックオフシンポ

来月9日開催

前12月期決算

露セベスタール 最終赤字1890億円

ロシア高炉大手のセベスタールが発表した2014年12月期決算は、最終損益が16億200万㌦の赤字（約1890億円の赤字、前期は8300万㌦の黒字）となり、4期ぶりの最終赤字となった。為替差損で18億70

テナリス 純利益、13%減の1610億円

15年の油井管受注、3割減へ

世界鋼管大手のテナリスが（本社・ルクセンブルク）発表した2014年12月期決算は、純利益が13億66

需要減を挙げる一方、ルーブル安を追い風に輸出を増やすことである程度補えるとしている。

プライメタルズ・テクノロジーズ

棒鋼ミルの改良工事受注

クウェート社向け

三菱日立製鉄機械と独シーメンスの合弁会社、プライメタルズ・テクノロジーズ（本社・ロンドン）は、クウェートの民営鉄鋼メーカー、ＫＷＴスチールから鉄筋用棒鋼ミルの改良工事を受注したと発表した。工事は年内にも完了する予定。

設備改良では焼入設備を導入し、コストが割高になる合金を使わなくても棒鋼の品質を高めることができる。ＫＷＴは輸出市場での受注力を強化する狙いだ。

ＫＷＴは１９９９年に旧シーメンスＶＡＩ

年
展に

1975年の創立以来、お陰様で40周年を迎えました。
沿える様、邁進して参りますので、これからも変わらぬ
願い申し上げます。
代表取締役社長　森川純一

・高合金鋼管・銅合金管・チタン管 輸出専門商社

〒166-0011
東京都杉並区梅里1丁目13番12号
新高円寺第一生命ビル3階
電話：03-5929-1981（代表）
FAX：03-5929-1944
www.sankomj.co.jp

平成26年度版
鉄鋼年鑑 CD-ROM 発売

▽グラフでみる平成25年度の鉄鋼業（4色刷）
主な内容 ▽技術編 ▽労働編 ▽金融・経営編 ▽需給編
▽フェロアロイ編 ▽国際編 ▽その他編 ▽統計

便利な3大資料

会社・団体名鑑 …… 約450社・団体の（製造業、販売業

日本鉄鋼年表 …… 天正18年（15国内外の鉄鋼関

統計データ集（付録CD） …… 統計編に収録のデータをCDにパソコンでご活

〒101-0051　東京都千代田区神田神保町1-101
神保町101ビル
電話　(03)5259−5202（業務部）
http://www.japanmetaldaily.com

＊お申し込